

# 嘉瀬公民館だより

# Kase 9

2020  
(令和2年)

月号



発行/佐賀市立嘉瀬公民館

嘉瀬校区の人口 (7月末現在)

世帯数 2,109 世帯 男 2,230 人  
人口 4,878 人 女 2,648 人

〒840-0861 佐賀市嘉瀬町中原1690番地

TEL・FAX/ 0952-26-5208

E-mail/ kkase@city.saga.lg.jp

## 公民館講座 参加者募集のお知らせ

### ことぶき大学



日時 9月29日(火)

10:00~11:30

場所 嘉瀬公民館

内容 フレイル予防で健康長寿

※フレイル=健康と要介護の中間の状態

講師 松田智子さん(おたっしや本舗昭栄)

対象 嘉瀬校区在住の60歳以上の方

参加費 無料

定員 30人(先着順)

申し込み 9月1日(火)より受付

その他 ・軽く体を動かすコーナーがあります。

・必ず事前にお申し込みください。

### スマホ講座



「せっかく買ったので、もっと使いこなしたい」「家にいる時間が多くなり、インターネットを楽しみたい」という方に!スマートフォンの基本機能からセキュリティまで、専門家から3日間で学びます。

日時 10月6日(火)・8日(木)・12日(月)

10:00~12:00

場所 嘉瀬公民館

講師 NPO法人シニアネット佐賀

対象 嘉瀬校区在住でスマートフォンをお持ちの方

参加費 1,500円(テキスト代、機器レンタル料)

定員 8人(応募者多数の場合は抽選)

申し込み 9月11日(金)~9月24日(木)受付

申し込み・問い合わせ 嘉瀬公民館 TEL/FAX 0952-26-5208 (8:30~17:00 土日祝日除く)

## ことぶき大学 第2回

7/28(火)

『健康ストレッチ』

講師の中江立さん(柔道整復師)は、昨年嘉瀬町内に整骨院を開院され、地域の行事にも積極的に参加されています。

前半は座学で、ストレッチは柔軟性の向上だけでなく筋力低下の予防や自律神経の機能を正常に保ち、健康維持に効果があることを教わりました。

後半は、全身の様々な部位のストレッチを、呼吸や筋肉の伸ばし方など、丁寧に指導を受けながら実践しました。

参加者からは、「自己流でやっていたので、正しいやり方を教わられて良かった」「短時間だけど温まって汗をかくことができた」などの感想がありました。

(参加者17人)



## せいらん学級 絵手紙教室

8/7(金)

金子正彦さん(宮地亨美術館館長)を講師に招き絵手紙教室を開催しました。

初心者は直線や曲線を描く練習から。経験者はさっそくハガキにナスやキュウリ、金魚などの絵を描きました。この日できた絵手紙の一部は、暑中見舞いの一言を添えて嘉瀬町の一人暮らしの高齢者のお宅へ郵送されました。

(せいらんボランティア共催、参加者9人)



## まちづくり協議会 福祉・健康部会

### 夏休みラジ&ウォーク



9回目となる夏休みのラジ&ウォークが8月2日(日)、森林公園で開催され、子ども13人を含む約70人が参加しました。

芝生の上で佐賀弁ラジ体操第一・第二をしっかりと行った後、30分ほどウォーキング。この日は朝から晴天だったもののそよ風が吹き、参加した人はそれぞれのペースでウォーキングを楽しんでいました。最後に参加賞が配られ、ジュースや日用雑貨などを手にした子どもたちから笑みがこぼれました。

(協力: 佐賀嘉瀬郵便局、嘉瀬町体育協会、佐賀パルーンの里ウォーキンググループ)

## 嘉瀬町探訪 一 四面神社 (元町)

諫早神・温泉神・支々岐神・千々岩神の四柱の神を主神とする。創始の年代は不詳だが、平胤貞が建久3(1192)年に再建したとの記録がある。

国道207号線の旧道沿いの一の鳥居は、鍋島二代藩主光茂と鍋島藩5名の家老の寄進で、二の鳥居は寛永11年鍋島初代藩主勝茂の寄進によるものである。明治維新までは鍋島家より祭費として毎年米五石が寄進されており、海の守護神として尊崇されていた。(参考引用: 嘉瀬町史)

神社のすぐそばに住む荒木達雄さんに、思い出話を語っていただきました。

### 参道の桜並木

「元町には現在約300戸があるが、終戦直後くらいは30戸ほどしかなく、田畑が広がっていました。旧長崎街道沿いにある一の鳥居から神社までは参道で、境内と同じように白い砂が敷かれていました。参道の両側は桜並木で、春になると桜のトンネルになってそれはきれいでしたね。夏には虫もたくさん飛んでいましたよ」昭和30年代から周辺の宅地化が進み、参道沿いに家が建つたびに桜は切れ、いつしかすべてなくなってしまいました。

「今、一の鳥居が道路の一部を塞いで車が通りにくくなっています。そのため鳥居を90度動かしたらという人がいたらしいけれど、あの道はもともと参道なのだからとんでもないことです」と話されました。

### 熱病の神様

四面神社の隣にある社殿は佐田神社といい、熱病の神様として昔から崇敬されているそうです。

「かつては豆腐をお供えする人がよくいました。お供えの豆腐を早く引く(下げる)と熱も早く引くといわれていて。豆腐を引くのは土地の者という決まりで、子どもの頃境内で遊んでいると参拝者から早く豆腐を引いてくれと頼まれることもありましたがね」豆腐はありがたく家族でいただいたそう。「一回り年上の姉の話では、昭和20年くらいまで豆腐を引くのは町内の当番制だった。ひっきりなしに参拝する人があったのでしょね、当番の日は食べきれないほど豆腐が家にあったそうです」今でも時折、参拝する人の姿を見ることがあるそうです。



旧長崎街道沿いにある鳥居。奥に四面神社が見える。



荒木達雄さん。子どもの頃は神社の横の馬入川(牛馬を洗う所)や境内で毎日遊んでいた。遊び道具はほとんど手作りだったと、当手を懐かしむ。